



ショートコメント

★★★

Data 2022-27

MEMORIA メモリア

2021年/コロンビア・タイ・伴リ・韓国・フランス・ドイツ・韓国合作映画
配給：ファインフィルムズ/136分

2022 (令和4) 年3月9日鑑賞

シネ・リーブル梅田

監督・脚本：アピチャップ
ン・ウィーラセタクン
出演：ティルダ・スウィント
ン/エルキン・ディア
ス/ジャンヌ・バリバ
ール/ファン・パブ
ロ・ウレゴ

みどころ

カンヌ4冠のアピチャップン監督が贈る、唯一無二の映像体験。そう聞けば、こりゃ必見！

しかし、「深遠かつ静謐にして、圧倒的な【音】がもたらす唯一無二の映像体験」って一体ナニ？また、監督自身が患ったという「頭内爆発音症候群」とは一体ナニ？

ワケのわからないストーリーは、難解。「ワクワクするような謎から始まる」とも言えるが、私にはNo More Thank you。

—————*—————*—————*—————*—————*—————*—————*—————*—————*—————

◆チラシには「2021年カンヌ国際映画祭審査員賞受賞」、「本年度アカデミー賞国際長編映画賞コロンビア代表」とあり、また「深遠かつ静謐にして、圧倒的な【音】がもたらす唯一無二の映像体験」とある上、「カンヌ4冠のアピチャップン監督が贈る、唯一無二の映像体験」とも書いてあるから、こりゃ必見！

もっとも、「自分だけに響く【音】が導く、記憶への旅」とも書いてあるが、こりゃ一体ナニ？チラシによると、監督自身が患った「頭内爆発音症候群」から着想を経た記憶の旅路が描かれる、そうだが、そもそも頭内爆発音症候群って一体ナニ？

◆チラシには、本作のストーリーが次のように書かれている。すなわち、「地球の核が震えるような、不穏な【音】が頭の中で轟く—。とある明け方、その【音】に襲われて以来、ジェシカは不眠症を患うようになる。妹を見舞った病院で知り合った考古学者アグネスを訪ね、人骨の発掘現場を訪れたジェシカは、やがて小さな村に行きつく。川沿いで魚の鱗取りをしているエルナンという男に出会い、彼と記憶について語り合ううちに、ジェシカは今までにない感覚に襲われる。」こりゃ、かなり難解そう。

◆そんな予想通り、暗いスクリーン上で展開していくストーリーはさっぱりワケが分から

ない。そのため、残念ながら私は途中から居眠りも……。これを、某新聞紙評のように「ワクワクするような謎から始まる」と評することもできるかもしれないが、私にはハッキリ言って、No More Thank you の思いが……。

◆スクリーンを見ていると、時々大きな音が突然響き渡るので要注意。どうも、これが頭内爆発音症候群のためにジェシカの頭の中で時々響き渡る音らしいが、それが一体どうしたの？だんだん、私はそれ以上ストーリーを追っていく意欲が薄れていくことに……。

2022（令和4）年3月11日記